

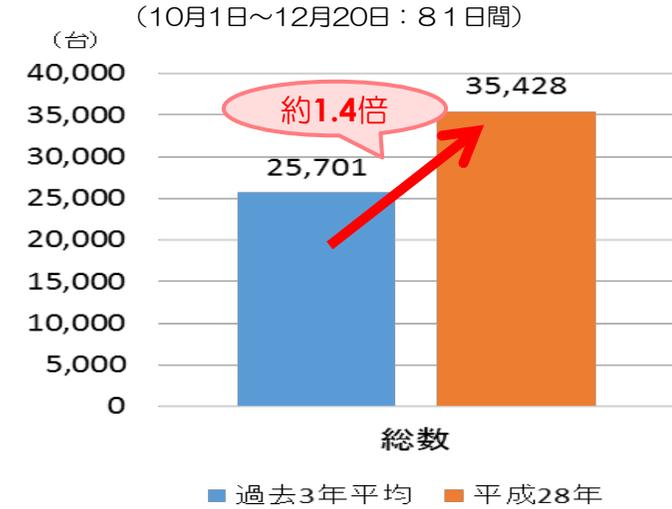
屋島ドライブウェイ 無料化社会実験

まとめ

屋島来訪車両台数の変化

無料化による来訪車両増

■ 総来訪車両台数



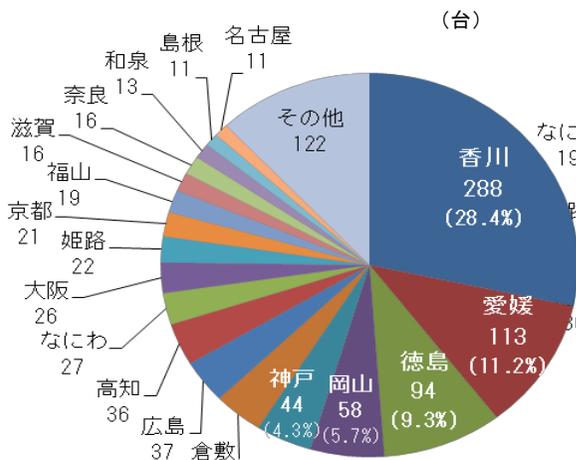
■ 平日・休日別 総来訪車両台数



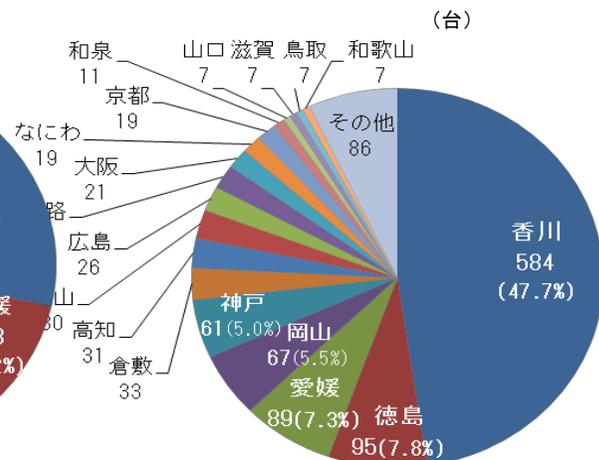
■ ナンバープレート調査

■ 休日

【実験前】9/18 (日)



【期間中】10/10 (祝)



県内来訪者について、数・割合ともに倍増

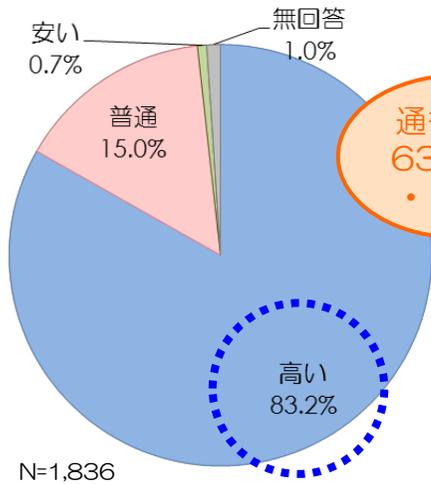
来訪車両台数は平日で約1.3倍、休日で約1.5倍（全体で約1.4倍）になるなど、無料化により来訪増加につながる結果となった。

また、県内来訪者の増から、屋島山上へ気軽に訪れる状況が確認された。

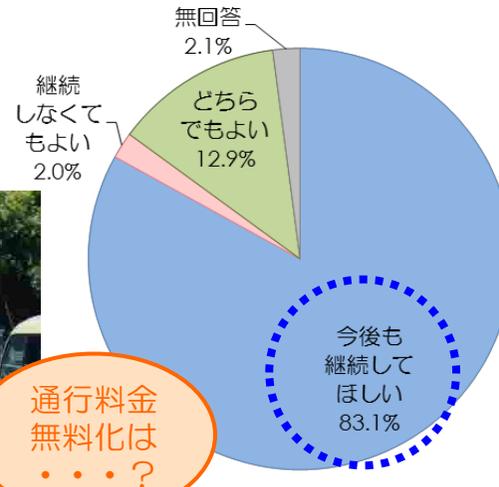
※来訪者が増加したが、山上店舗の来客数・売上げは変化しなかった。

社会実験に対する来訪者の評価①

「通行料無料化、山上駐車場有料化」への理解・評価は高い



通行料金
630円は
・・・？



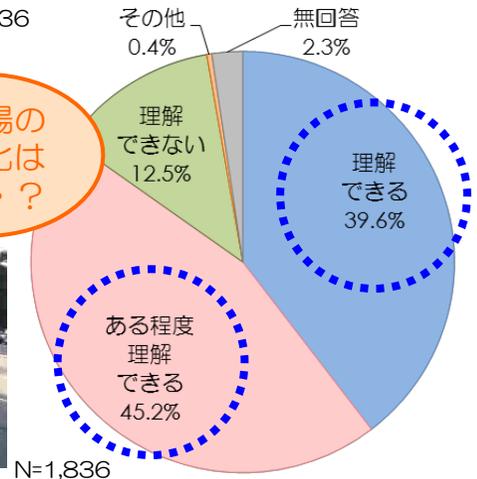
通行料金
無料化は
・・・？

通常の通行料金（往復630円）について割高感を感じている人が多く、今後の無料化の継続を望む人が大半を占める結果となった。

駐車場有料化については、8割以上の人々が駐車場の有料化へ理解を示しており、駐車場の料金設定として1回あたりでの定額制を望む人が多い結果となった。



駐車場の
有料化は
・・・？

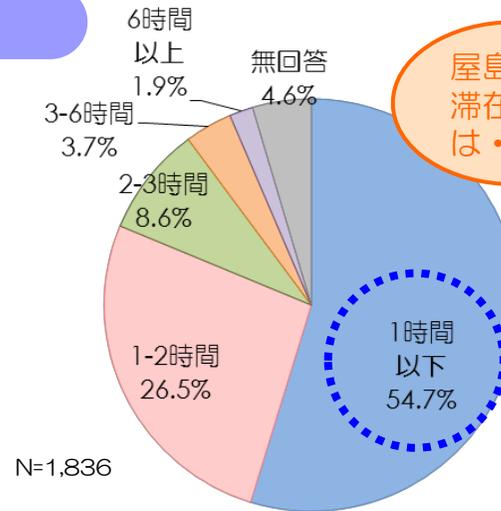


※比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出したため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。

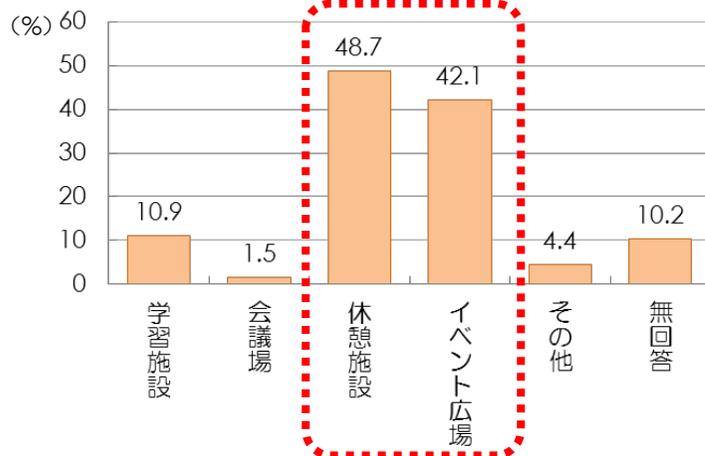
社会実験に対する来訪者の評価②

短時間滞在者の多さ

屋島での滞在時間は1時間以下の人が半数以上を占め、長時間滞在している人が少ない状況がみられる。



長時間滞在を可能とする仕掛けの検討



通行料無料化が来訪のきっかけとなる人も一定数おり、特に、10~40歳代などの若い世代で多い傾向がみられる。
今後の来訪意向は高く、整備してほしい屋島山上拠点施設として休憩施設やイベント広場などの回答が多かったことから、地域住民や関係者との連携によるイベントの実施など、観光客の長時間滞在を可能とする仕掛けを検討していく必要がある。

社会実験検討段階での留意事項

社会実験期間中、危険行為・環境悪化は確認されなかった。

検討段階での懸念事項であった暴走行為や交通事故、不法投棄の発生などについては、無料化による影響はみられなかった。



渋滞の状況



行楽シーズンの連休には、山上での駐車場不足や、帰路における山麓側での渋滞発生などが見受けられた。

無料化社会実験のまとめ

- ・昨年実施した屋島ドライブウェイ無料化の社会実験では、悪天候の影響があった9月を除き、通行台数は、過去3年間の平均に比べて、約1.4倍となった。
- ・アンケート調査では、通常の通行料金(往復630円)について割高感を感じている人が多く、無料化の継続を望む人が大半を占める結果となった。
- ・こうした結果から、ドライブウェイの無料化は、通行料金の割高感を解消し、より多くの皆様に山上に気軽に訪れていただくための環境づくりとして、有効である。
- ・一方、滞在時間が短いことや山上店舗の売上げが伸びていないこと、また社会実験中の行楽シーズンの連休には、山上での駐車場不足や山麓交差点付近での渋滞発生などの課題も確認された。
- ・今後は、これらの課題に対応しつつ、屋島活性化の基幹的事業である無料化の早期実現を目指すものとする。

屋島ドライブウェイ 無料化社会実験 利用状況等に関する調査結果

実験前 【平日】 9月15日（木）曇り／ 【休日】 9月18日（日） 曇り
期間中 【平日】 10月6日（木）晴れ／ 【休日】 10月10日（月・祝）晴れ

調査概要

■調査目的

屋島ドライブウェイの無料化社会実験による影響を把握するため、『社会実験の実施前』と『社会実験の期間中』に交通実態調査を実施する。調査時間はいずれも12時間（7：00～19：00）

■調査内容

種別	調査内容
1) 渋滞調査	○ 市道屋島古高松線と国道11号が交差する高松町交差点を対象にした渋滞調査を実施
2) 駐車場利用台数調査	○ 山上を訪れた車両のうち、駐車場を利用した車両の台数（送迎車両を除く）を観測
3) 送迎者・送迎車両数調査	○ 山上駐車場を利用せず、山上でUターンした車両（ドライブ目的、送迎目的）の台数を観測 ○ 送迎利用の降車・乗車した人数を観測
4) 公共交通機関利用者数調査	○ 山上への公共交通であるシャトルバスの利用者数の観測 ○ 屋島山上へのアクセスを担う公共交通の利用者数を観測
5) ナンバープレート調査	○ ナンバープレートに記載された車籍地を観測
6) 商業施設等の売上・来客数調査	○ 山上の商業施設の売り上げ、来客数を調査

調査結果（1）渋滞調査

- 平日・休日とも、社会実験の期間中は渋滞が伸びる傾向がみられた。
(※赤信号での最後尾位置)
- 特に、平日では国道11号、休日では屋島方向の渋滞が伸びている。

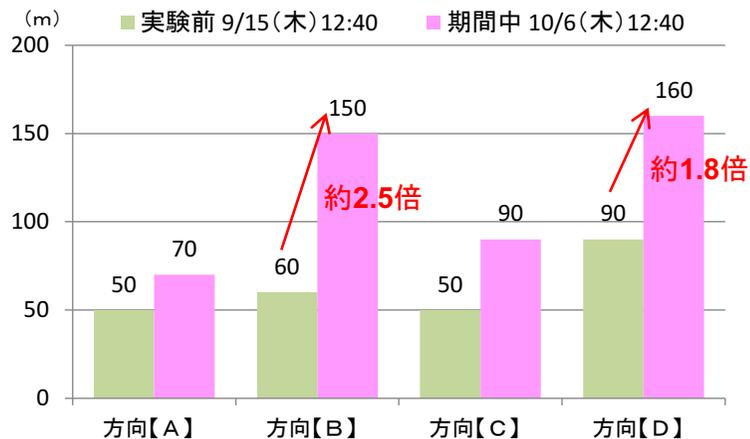
【D】
高松市役所
方面



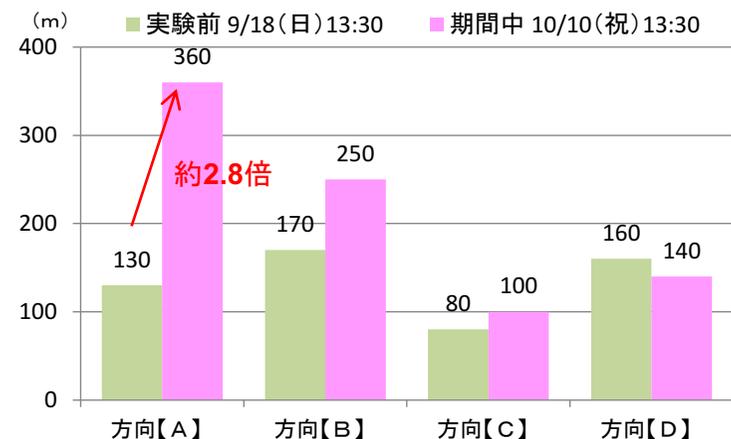
【B】
徳島方面

【C】 JR屋島駅方向

■ 平日



■ 休日



※グラフは実験前・期間中の差が比較的大きかった時間帯を示している

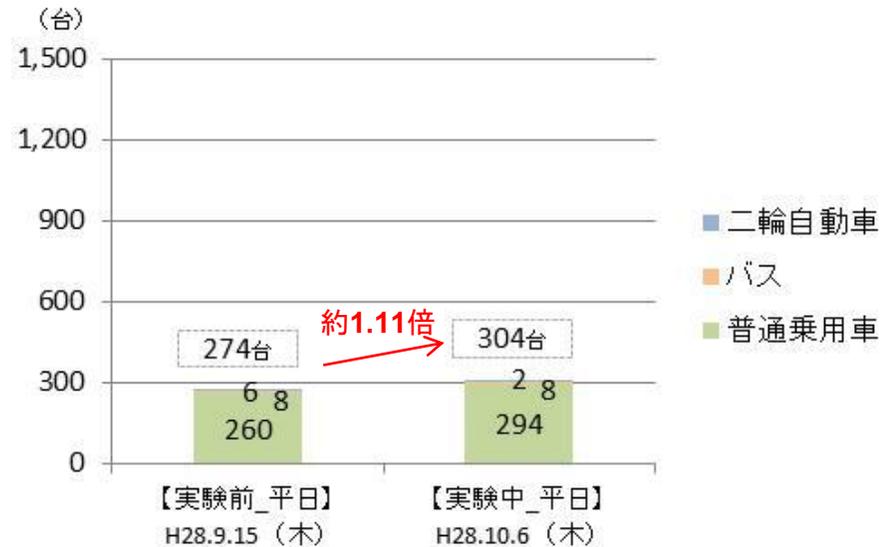
調査結果（２） 駐車場利用台数調査

- 平日・休日とも、社会実験の期間中は、駐車場の利用台数が増加している。
- 車種別にみると、バスの台数は、実験前・期間中での大きな変化はみられないが、バイクや乗用車の利用台数は、特に休日に増加がみられる。

■ 駐車場利用状況



■ 平日



■ 休日



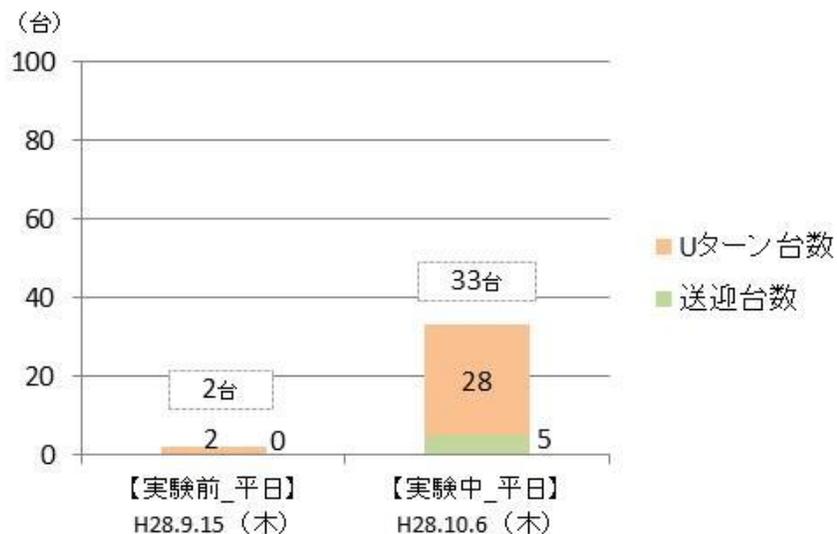
調査結果（3）送迎者・送迎車両数調査

● 社会実験期間中は、Uターン台数が100台程度となっており、実験前にはほとんどみられなかったUターンや送迎での利用が大きく増加している。

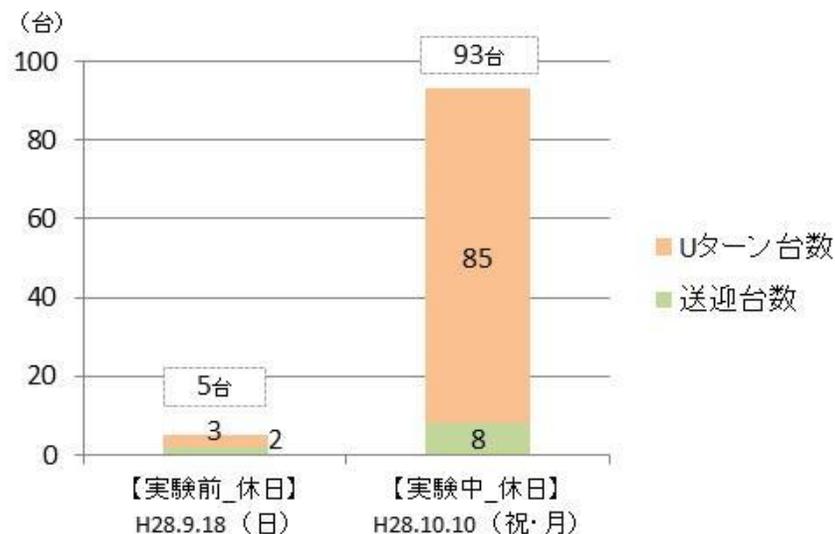
■ 送迎車両乗降人数

	平日		休日	
	実験前 9/15(木)	期間中 10/6(木)	実験前 9/18(日)	期間中 10/10(祝)
降車人数(人)	0	7	6	26
乗車人数(人)	0	2	0	22

■ 平日



■ 休日



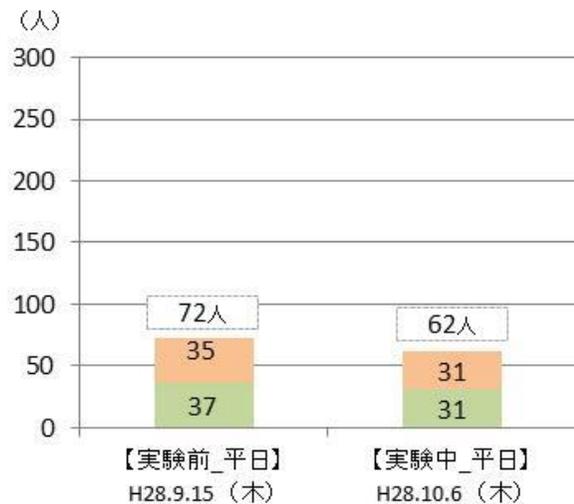
調査結果（４）公共交通機関利用者数調査①

- シャトルバスの利用者は、社会実験前・社会実験中で大きな変化はみられない。

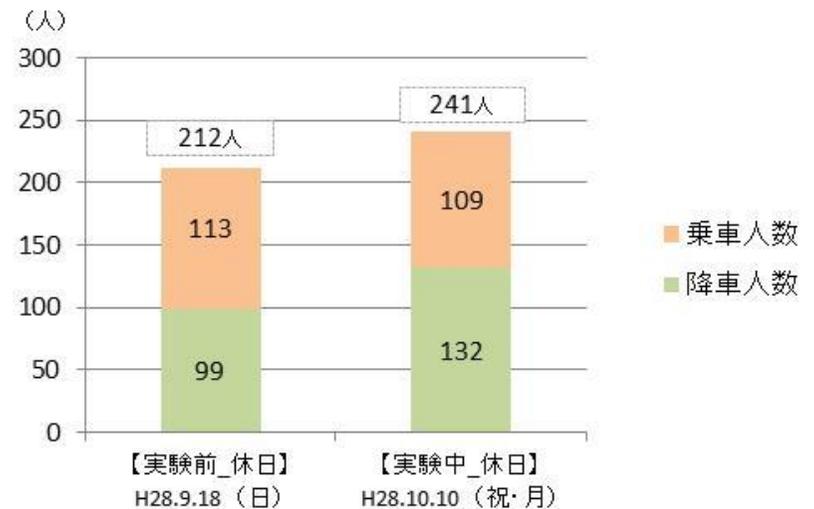
■ シャトルバスの利用状況



■ 平日



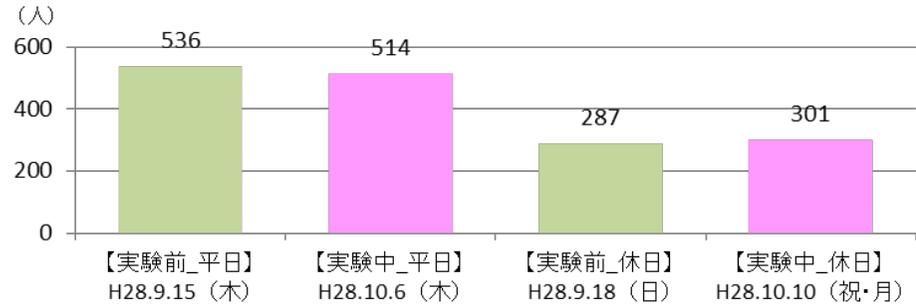
■ 休日



調査結果（４）公共交通機関利用者数調査②

● ことでん屋島駅利用者数は、社会実験前・社会実験中で、大きな変化はみられない。

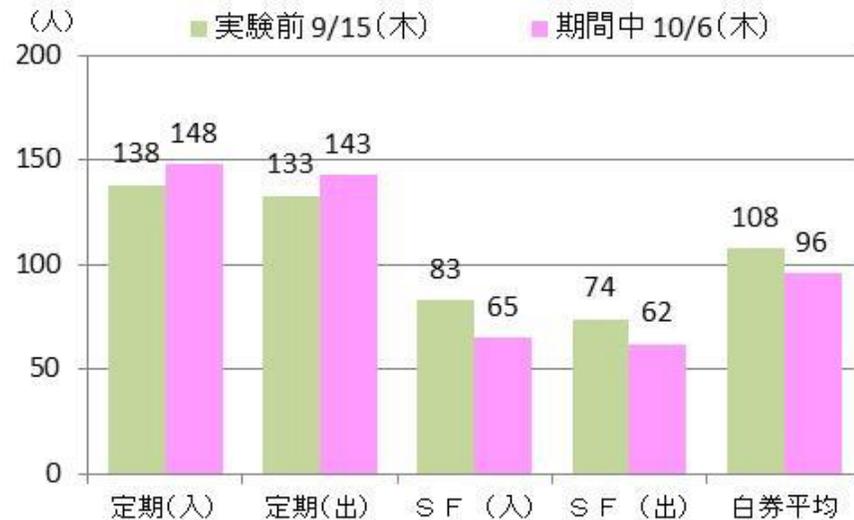
■ 延べ利用者数



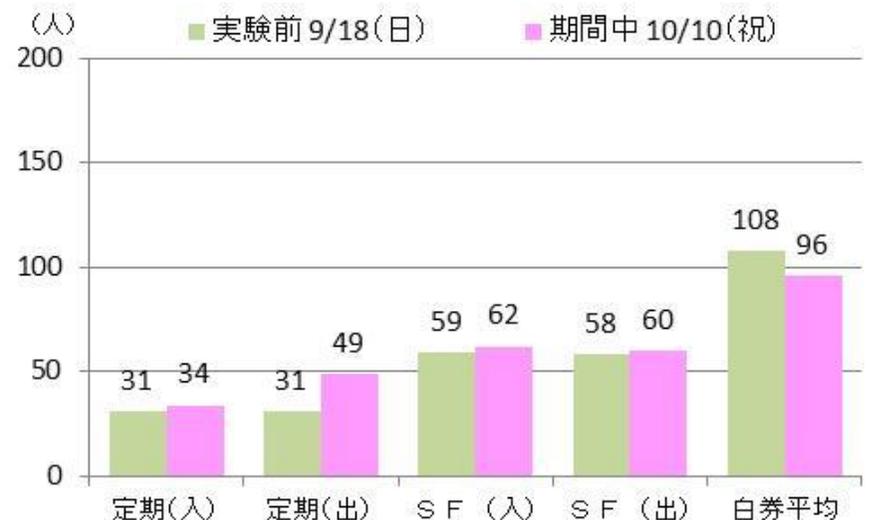
■ ことでん屋島駅利用状況

* SF=lruCa利用者数（定期除く）
白券平均=無人駅回収箱での回収数（6日に1度の回収のため、6日間での平均数）

《平日》



《休日》



調査結果（5）ナンバープレート調査

- 社会実験期間中は、実験前に比べ、香川ナンバーの台数が多く、割合も高い。
- 四国4県、岡山、倉敷、神戸などの、比較的多いナンバーには大きな変化はみられない。

■ 他府県からの観光バス



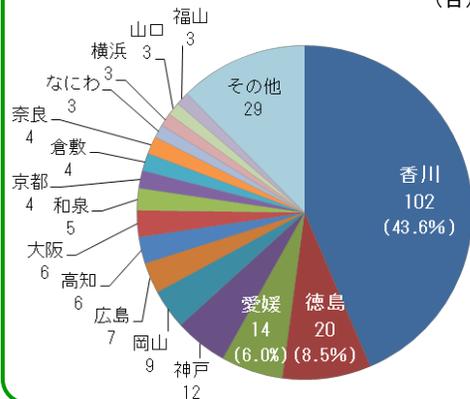
■ 遍路ツアーのバス



■ 平日

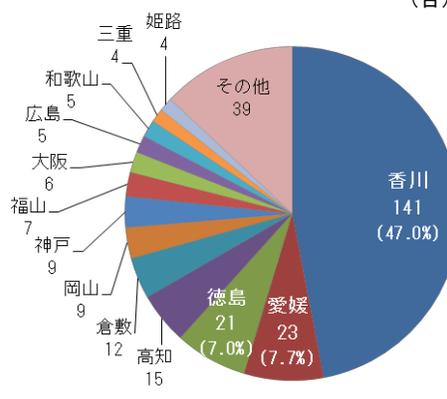
【実験前】9/15（木）

(台)



【期間中】10/6（木）

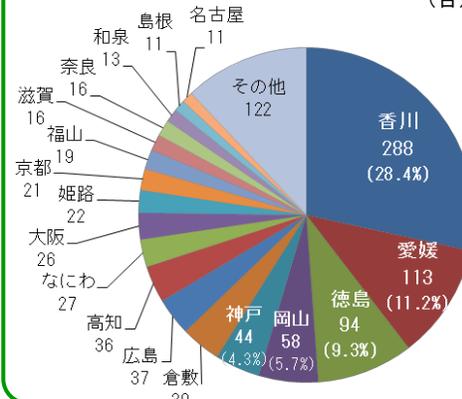
(台)



■ 休日

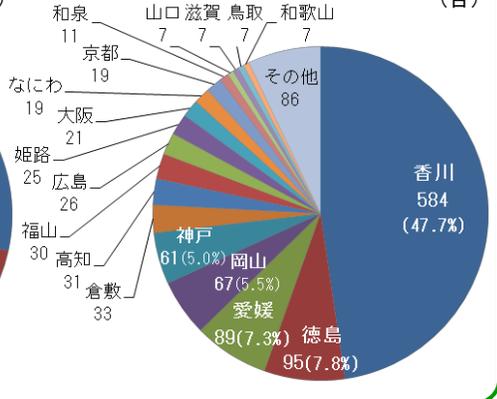
【実験前】9/18（日）

(台)



【期間中】10/10（祝）

(台)



調査結果（6）商業施設等の売上・来客数調査

- 平日の売上・来客数・来客1人あたりの平均売上ともに、社会実験中でやや増加している。
- 休日では、社会実験前・社会実験中での、大きな変化はみられない。

■ 商業施設等への来客状況

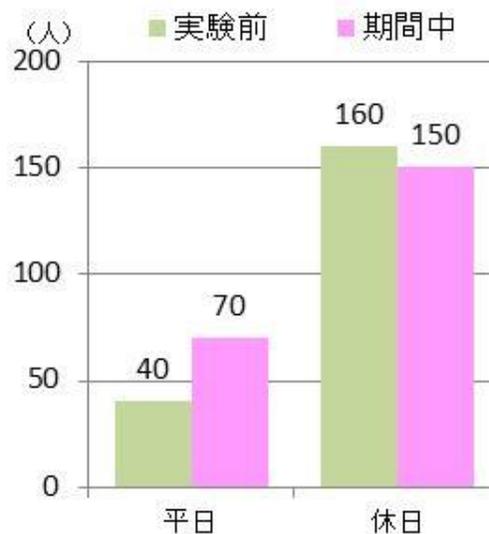


■ 商業施設売上・来客数（対象店舗：山上売店）

《売上》



《来客数》



《来客1人あたりの平均売上》



屋島ドライブウェイ 無料化社会実験 利用台数等に関する調査結果

社会実験期間（平成28年9月20日～12月20日）、及び
同期間の平成25年～平成27年の3か年データの比較

調査概要

■調査目的

屋島ドライブウェイの無料化社会実験による影響を把握するため、社会実験期間中（9月20日～12月20日の3か月間）について、平成25年～平成27年の社会実験実施前の同期間の利用状況との比較を行った。

集計に際しては、9月が台風16号の直撃等の悪天候が続いたこと、休日（連休）日数等の条件が異なり比較が困難と判断されるため、10月1日～12月20日（81日間）の利用状況にて集計・比較を行った。

■調査内容

【 調査時間 】

営業時間（6：30～22：00）

【 対象車両 】

社会実験前 ⇒ 通行料金を支払う車両

社会実験中 ⇒ 駐車料金を支払う車両

【 分 類 】

社会実験前 ⇒ 通行料金の種別（乗用車、貨物車、マイクロバス、路線バス、バス（上記以外のもの）、大型貨物車、二輪自動車）

社会実験中 ⇒ 駐車料金の種別（普通乗用車、二輪自動車、バス）

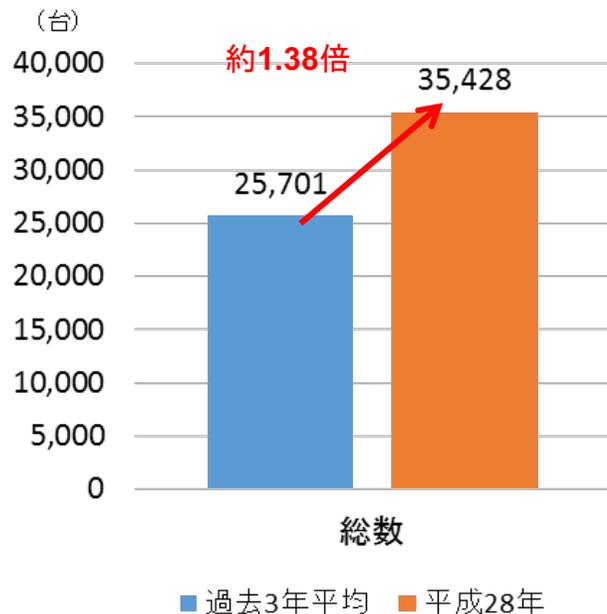
【 観測方法 】

通行料金（社会実験前）、駐車料金（社会実験中）の徴収記録による

調査結果（1） 総来訪車両台数（全車種）

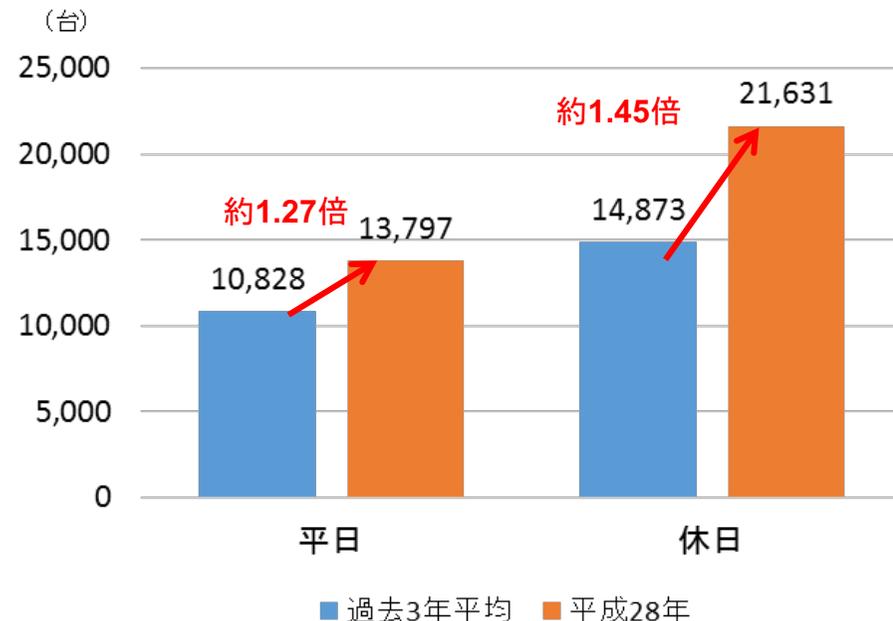
- 社会実験を実施した平成28年の総来訪車両台数は、35,428台と、過去3か年の平均台数（25,701台）と比較すると、38%増となっている。
- 平日・休日別にみると、平日では13,797台（27%増）、休日では21,631台（45%増）となっており、休日で特に来訪車両台数の増加がみられる。

■ 総来訪車両台数



(10月1日~12月20日：81日間)

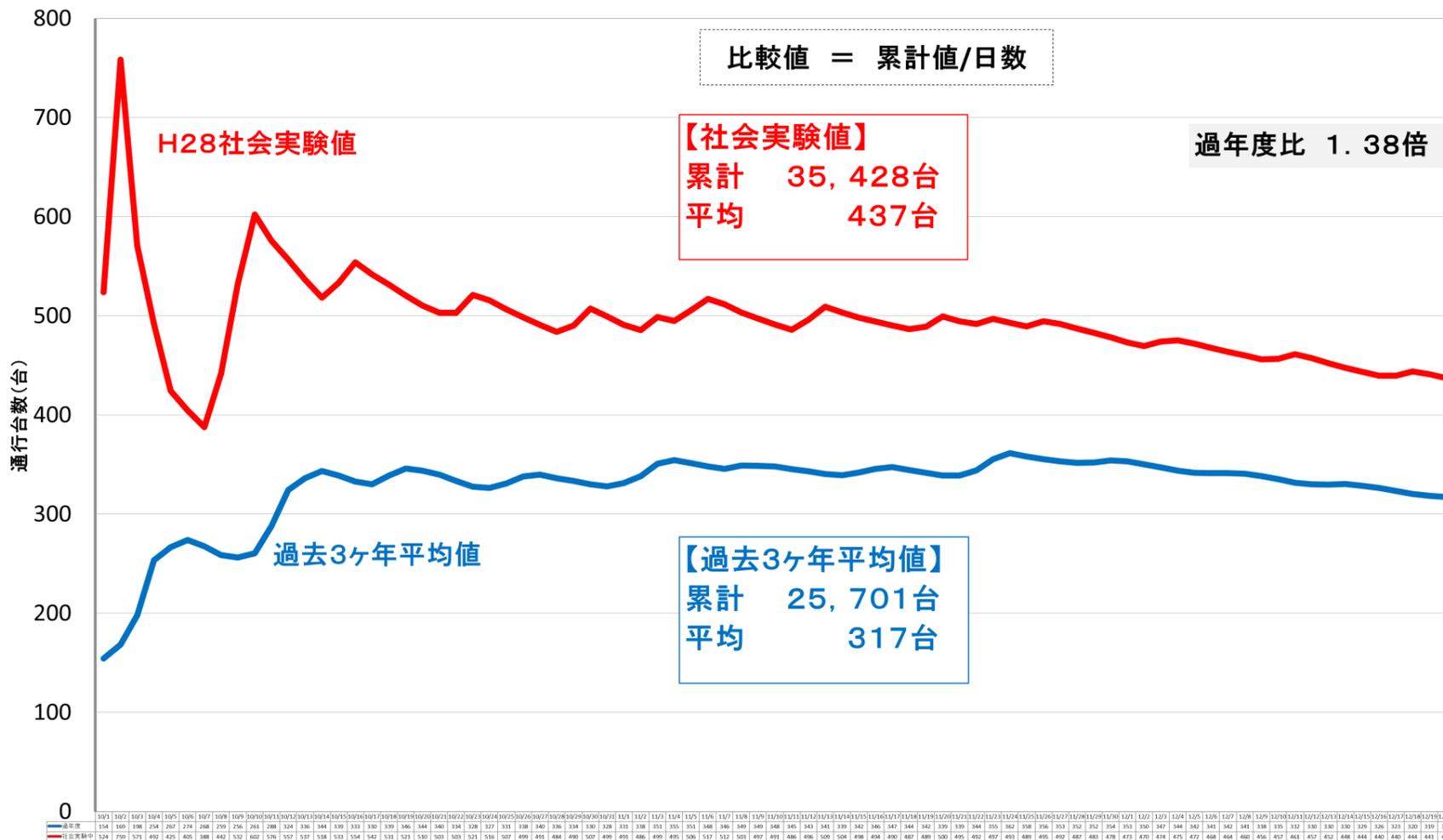
■ 平日・休日別 総来訪車両台数



(平日：過去3年は55日、平成28年は54日)
(休日：過去3年は26日、平成28年は27日)

調査結果（2）来訪車両台数の比較（全車両計・平均値）

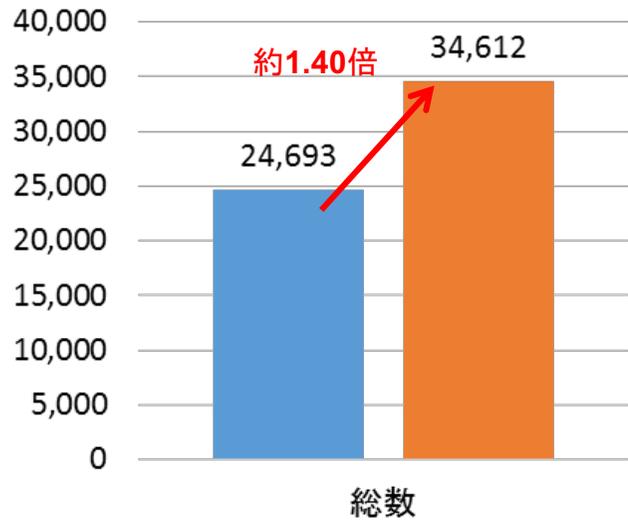
● 平成28年は平均で437台と、過去3か年平均（317台）の38%増となっている。



調査結果（3）車種別来訪車両台数（①一般車両）

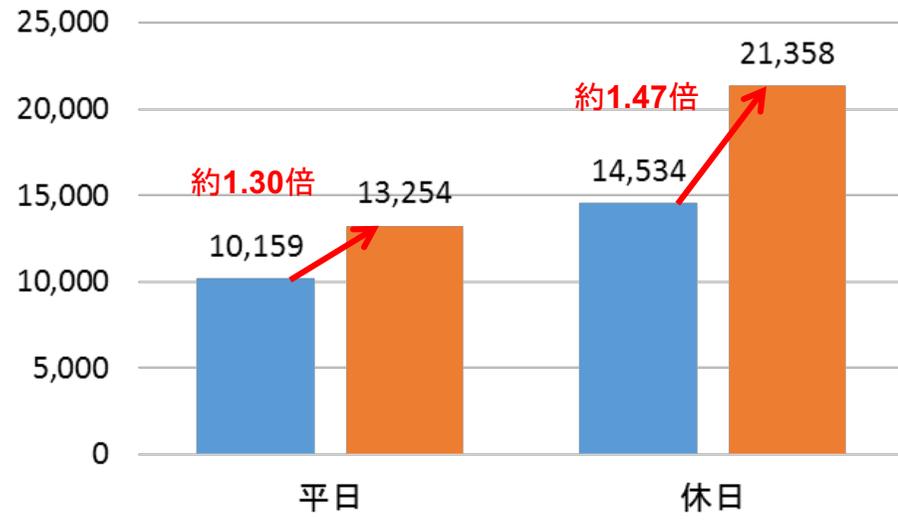
- 一般車両の平成28年の来訪車両台数は34,612台と、過去3か年平均（24,693台）と比較すると40%増となっている。総来訪車両台数の増加は、一般車両の増加が影響している。
- 平日・休日別にみると、平日では13,254台（30%増）、休日では21,358台（47%増）となっており、休日で特に来訪車両台数の増加がみられる。

■ 一般車両来訪台数
(台)



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

■ 平日・休日別 一般車両来訪台数
(台)

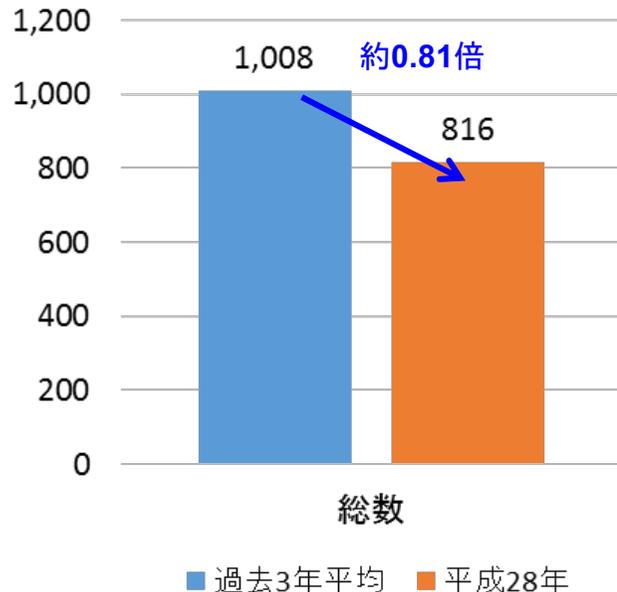


■ 過去3年平均 ■ 平成28年

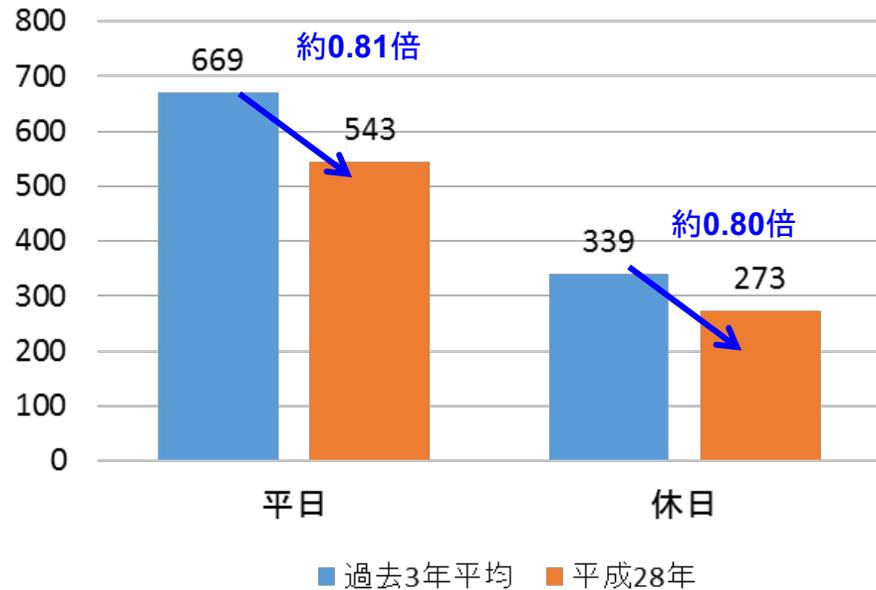
調査結果（４）車種別来訪車両台数（②バス）

- バスの平成28年の来訪車両台数は816台と、過去3か年平均（1,008台）と比較すると、19%減となっている。
- 平日・休日別にみると、平日では543台（19%減）、休日では273台（20%減）となっており、平日・休日の減少率には大きな差はみられない。

■ バス来訪車両台数
(台)



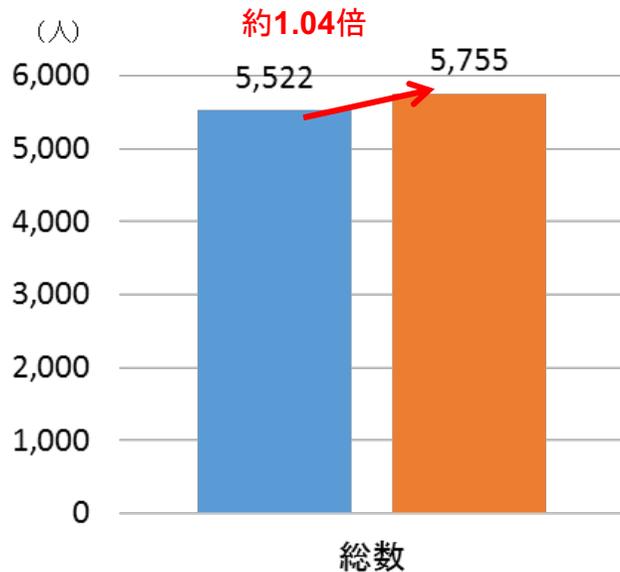
■ 平日・休日別 バス来訪車両台数
(台)



調査結果（５）店舗来客数（対象施設：山上売店）

- 店舗来客数で見ると、平成28年は5,755人と、過去3か年平均（5,522人）と比較すると4%増とやや増えているものの、大きな差はみられない。
- 平日・休日別にみると、平日では2,954人（増減なし）、休日では2,801人（9%増）となっており、休日でやや来客数の増加がみられる。

■ 店舗来客数



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

■ 平日・休日別 店舗来客数



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

【参考値】

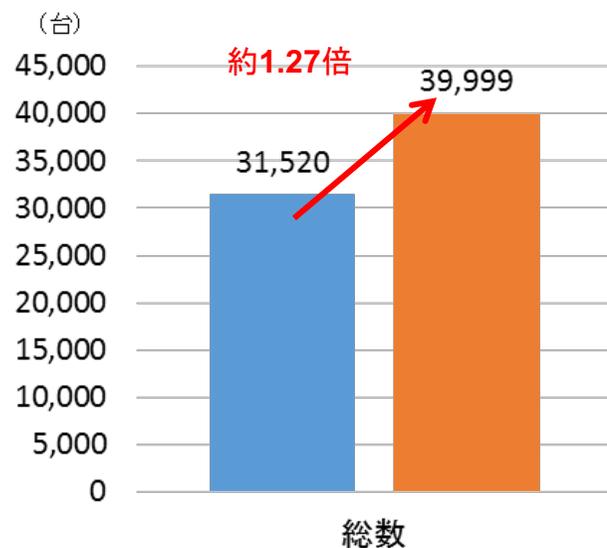
無料化社会実験期間
(平成28年 9月20日～12月20日：92日間)
集計結果

※ 9月は台風16号の直撃など悪天候が続いたこと、また休日（連休）日数等の条件が異なり比較が困難と判断されるため参考値とする。

調査結果／参考値（1）総来訪車両台数（全車種）

- 社会実験を実施した平成28年の総来訪車両台数は、39,999台と、過去3か年平均台数（31,520台）と比較すると、27%増となっている。
- 平日・休日別にみると、平日では16,367台（23%増）、休日では23,632台（29%増）となっており、休日で特に来訪車両台数の増加がみられる。

■ 総来訪車両台数



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

(9月20日～12月20日：92日間)

■ 平日・休日別 総来訪数車両台数

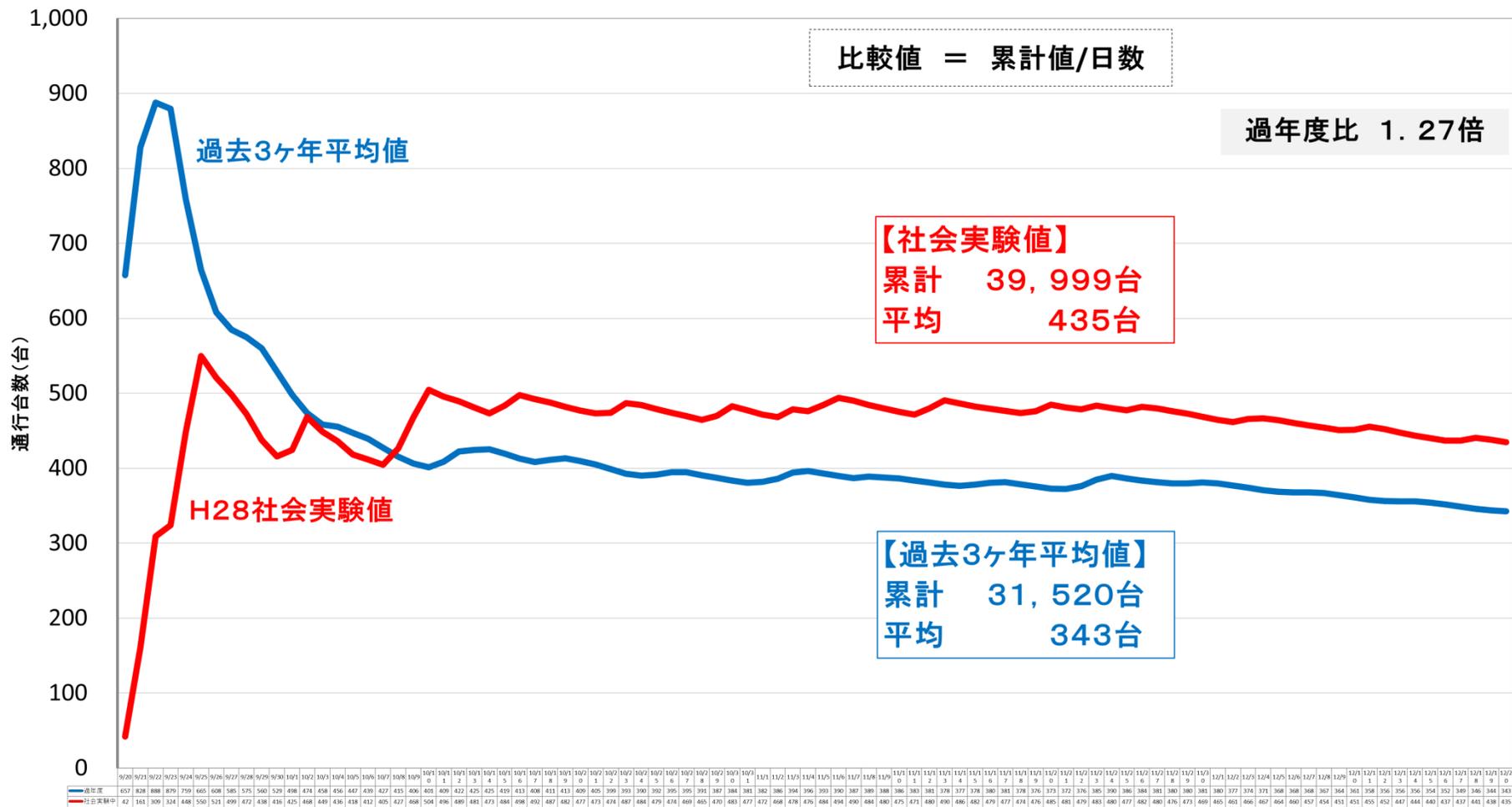


■ 過去3年平均 ■ 平成28年

(平日：過去3年は61日、平成28年は63日)
(休日：過去3年は31日、平成28年は29日)

調査結果／参考値（2）来訪車両台数の比較（全車両計・平均値）

● 平成28年の通行台数は平均435台と、過去3か年平均（343台）の27%増となっている。

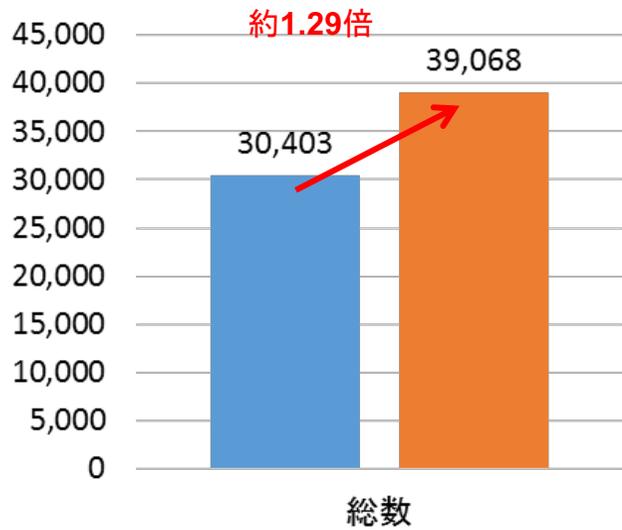


調査結果／参考値 (3) 車種別来訪車両台数 (①一般車両)

- 一般車両の平成28年の来訪車両台数は39,068台と、過去3か年平均(30,403台)と比較すると29%増となっている。総来訪車両台数の増加は、一般車両の増加が影響している。
- 平日・休日別にみると、平日では15,721台(26%増)、休日では23,347台(31%増)となっており、休日で特に来訪車両台数の増加がみられる。

■ 一般車両来訪台数

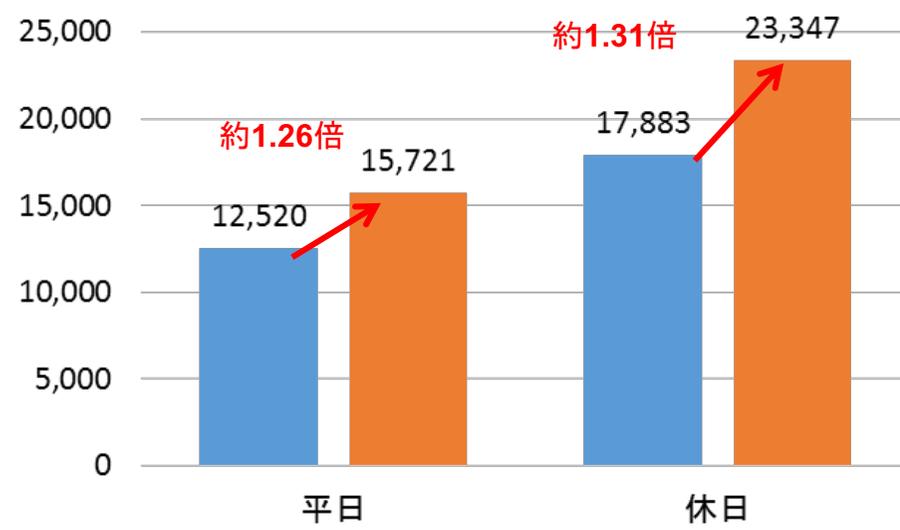
(台)



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

■ 平日・休日別 一般車両来訪台数

(台)



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

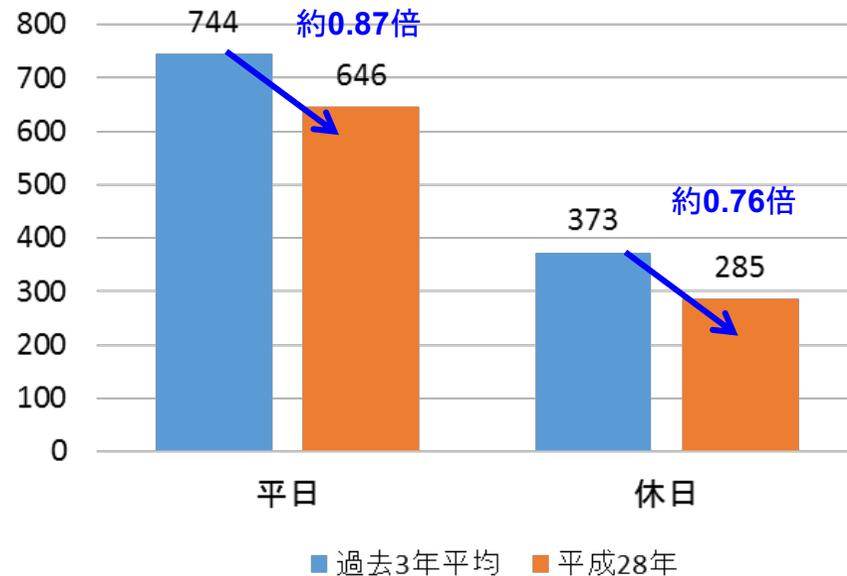
調査結果／参考値（４）車種別来訪車両台数（②バス）

- バスの平成28年の来訪車両台数は931台と、過去3か年平均（1,117台）と比較すると、17%減となっている。
- 平日・休日別にみると、平日では646台（13%減）、休日では285台（24%減）となっており、休日で特に来訪数の減少がみられる。

■ バス来訪車両台数
(台)



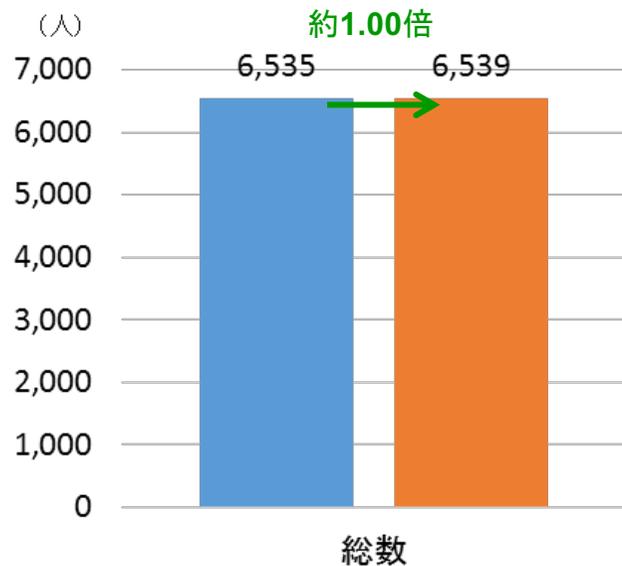
■ 平日・休日別 バス来訪車両台数
(台)



調査結果／参考値 (5) 店舗来客数 (対象施設：山上売店)

- 店舗来客数で見ると、平成28年は6,539人と、過去3か年平均（6,535人）と比較しても、大きな差はみられない。
- 平日・休日別にみると、平日では3,529人、休日では3,010人と、ともに過去3か年平均との大きな差はみられない。

■ 店舗来客数



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

■ 平日・休日別 店舗来客数



■ 過去3年平均 ■ 平成28年

屋島ドライブウェイ 無料化社会実験 「今後の屋島ドライブウェイのあり方」に関する アンケート調査結果

調査実施日: 実験期間中の水曜日と日曜日の「10時～16時」
実験期間中: 9月20日～12月20日

調査概要

■調査目的

屋島ドライブウェイの通行料金の割高感が、市民や観光客等の来訪の妨げとなり、屋島山上観光衰退の一因となっている可能性がある。屋島ドライブウェイの無料化に向けた検討を行い、実際に無料化した場合の影響を分析・評価するため、無料化社会実験を実施した。

そこで、無料化社会実験に対する意見をお伺いし、今後の屋島ドライブウェイのあり方に関する検討の基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

■調査方法

【 調査場所 】

山上駐車場の入口料金所

【 調査方法 】

入口料金所にてアンケート用紙を配付し、屋島ドライブウェイ売店前にてアンケート用紙を回収

※回答者には景品の抽選あり

【 調査日時 】

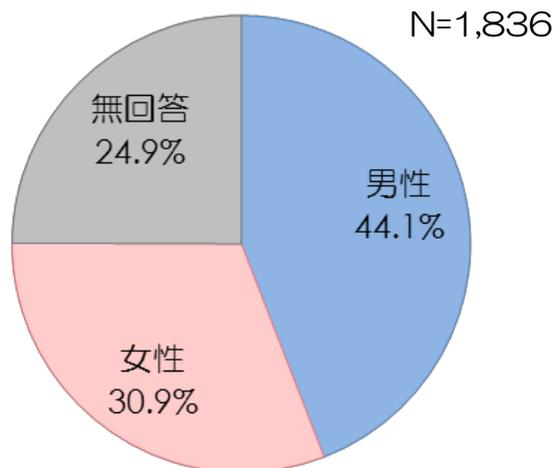
無料化社会実験期間中（調査日／水曜日・日曜日 調査時間帯／10：00～16：00 の 6時間）

■調査内容

- ・ 来訪目的、来訪頻度
- ・ 無料化社会実験の認知、来訪との関係
- ・ 駐車場利用形態の変化に関する感想、今後の意向
- ・ 拠点施設整備に関する意見
- ・ 屋島の魅力向上・活性化に向けた意見

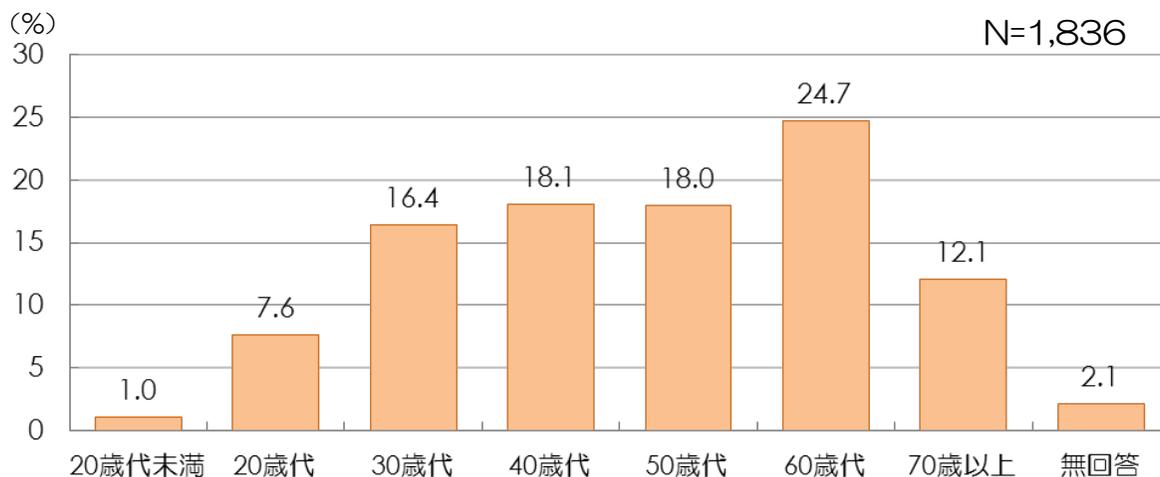
調査結果（１）回答者の属性

■性別



- 回答者の性別は、男性が44.1%、女性が30.9%と、利用者属性に比例して男性がやや多い。
- 回答者の年代は、30～60歳代が8割近くを占め、その中でも、60歳代の方が24.7%となっている。

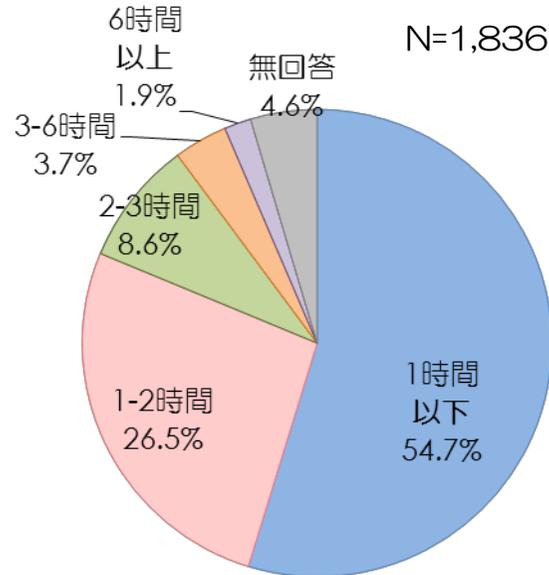
■年代



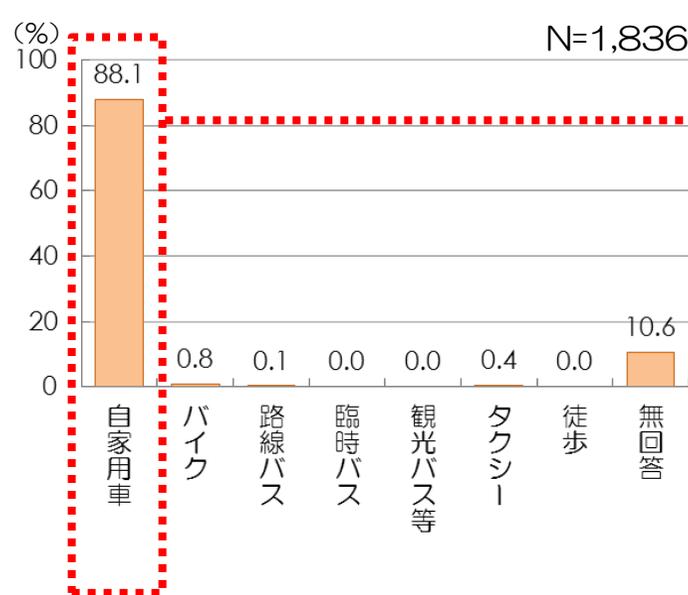
調査結果（２）屋島山上への移動手段

- 屋島山上での滞在時間は、「1時間以下」が半数以上を占め、次いで「1-2時間」が26.5%、「2-3時間」が8.6%と続いており、滞在時間3時間までの利用者が約9割を占める。
- 屋島山上への交通手段は、「自家用車」が大半を占める。
- 自家用車利用者の乗車人数は「2人」が4割以上を占め、回答者を含めて3名以内での来訪が7割を超える。

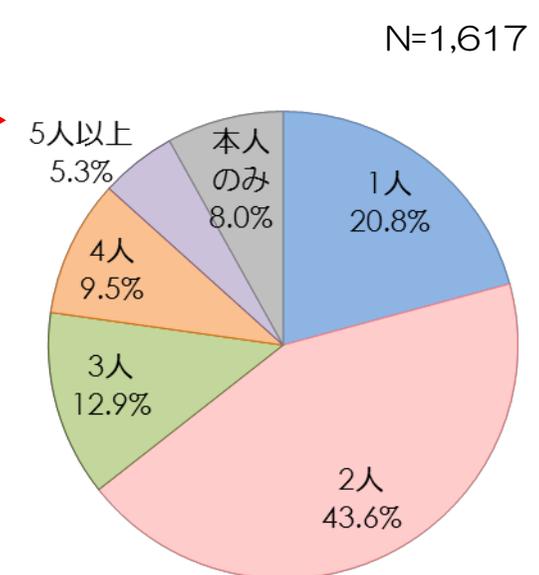
■ 屋島山上での滞在時間



■ 屋島山上への交通手段



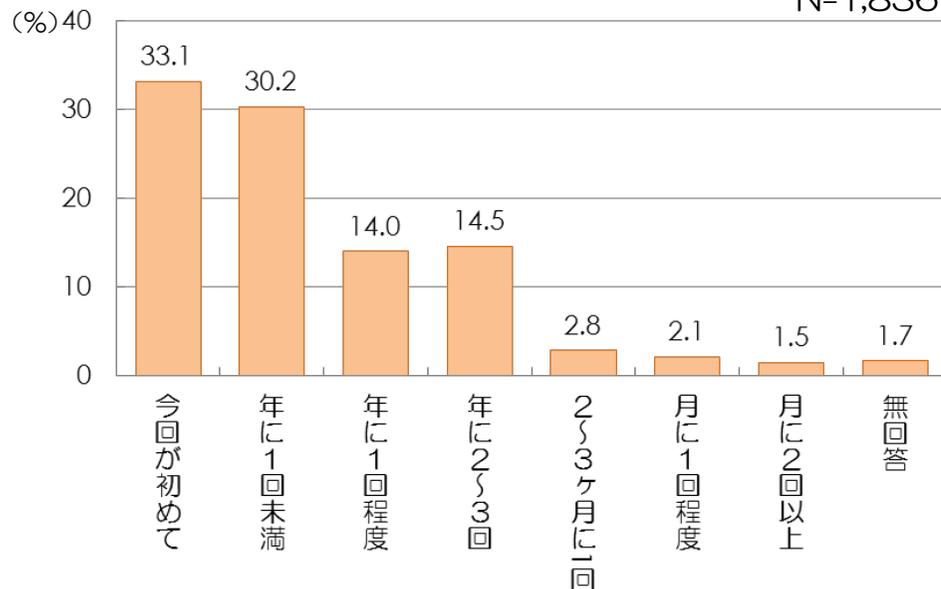
■ 自家用車利用者の同乗人数



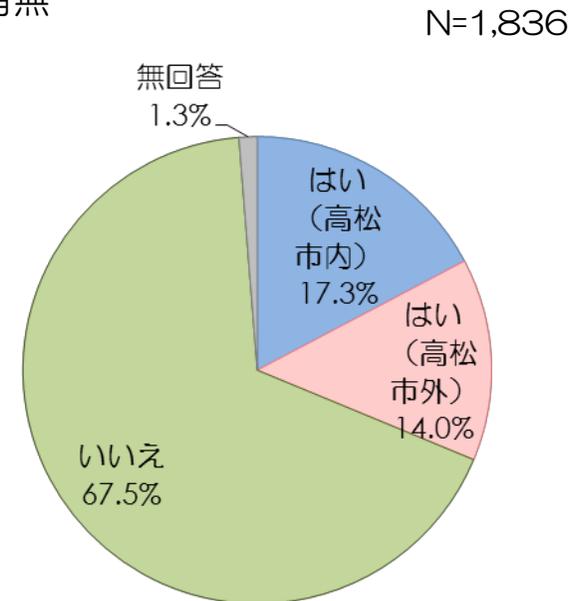
調査結果（3）観光来訪

- 屋島への来訪頻度は、「今回が初めて」及び「年に1回未満」がともに3割を超え、「年に1回程度」（14.0%）と合わせると、年に1回以下の来訪頻度の人々が8割近くを占める。
- 今回の来訪における宿泊は、「いいえ（宿泊を伴わない）」が7割近くを占める。
- 宿泊を伴う人は、高松市外に比べて高松市内で宿泊をする人がやや多い。

■ 屋島への来訪頻度



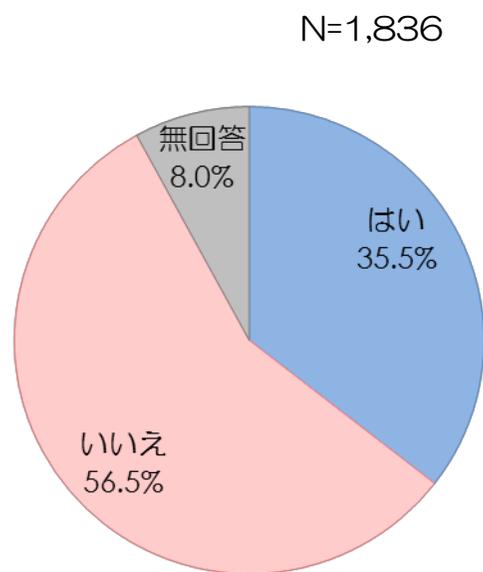
■ 宿泊の有無



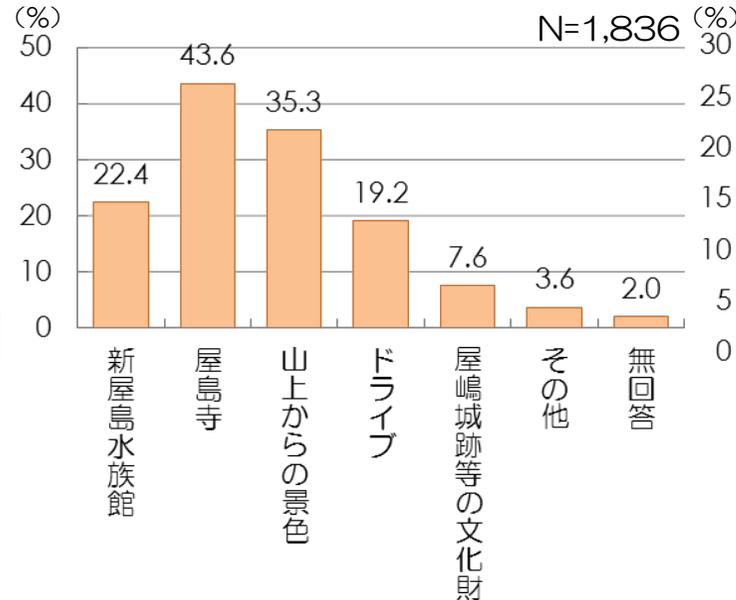
調査結果（４）観光目的・情報取得手段

- 屋島以外の観光地往訪は、「はい」が35.5%、「いいえ」が56.5%と、屋島以外に往訪予定のある人が3割を超える。
- 屋島への来訪目的は、「屋島寺」が4割以上を占め、次いで「山上からの景色」が35.3%と続いている。
- 情報の取得方法は、「報道・広告」、「クチコミ」が2割近くと多く、「ウェブページ」は1割程度となっている。「その他」としては、地元で既に知っている等の回答が挙がった。

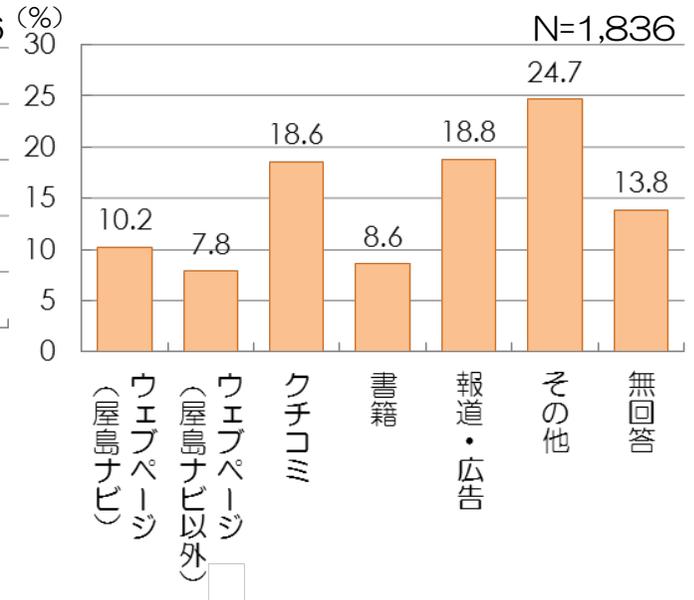
■ 屋島以外の観光地往訪



■ 屋島への来訪目的（複数回答）



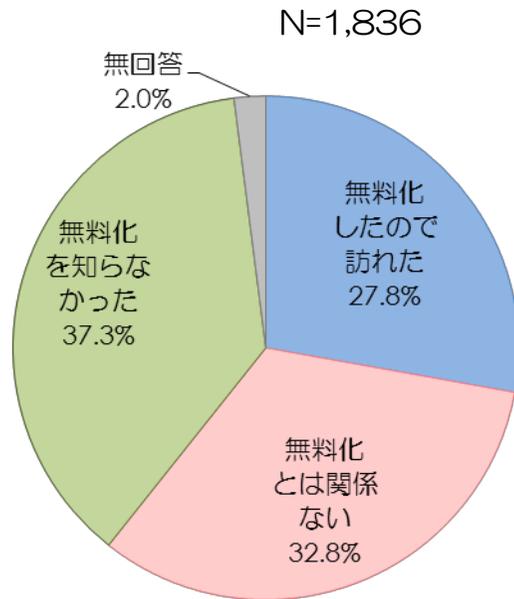
■ 情報の取得方法（複数回答）



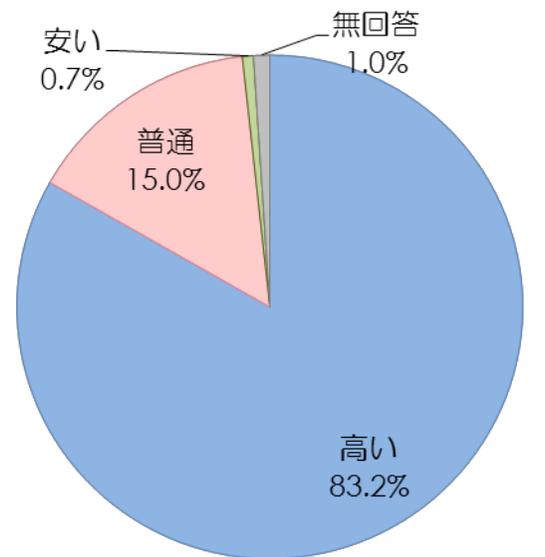
調査結果（5）無料化について

- 屋島来訪と無料化社会実験の影響については、「無料化を知らなかった」が4割近くを占め、無料化が来訪につながっている人は3割未満となっている。
- 通常の通行料金（往復630円）については、「高い」が8割以上を占める。
- 社会実験期間以後の無料化継続については、「今後も継続してほしい」が83.1%と、無料化の継続希望者が8割以上を占める。

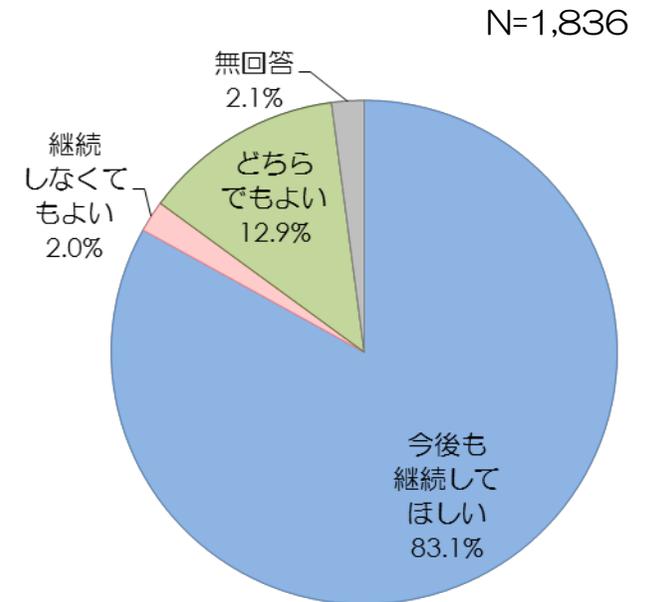
■ 来訪と無料化の関係



■ 通常の通行料金（往復630円）に対する感想



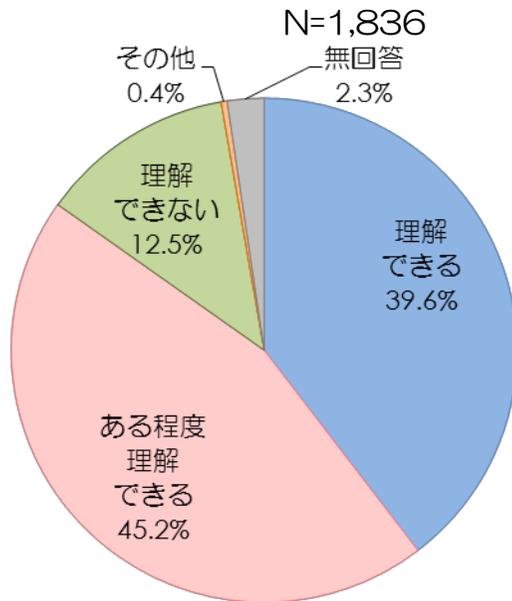
■ 実験期間以後の無料化の継続



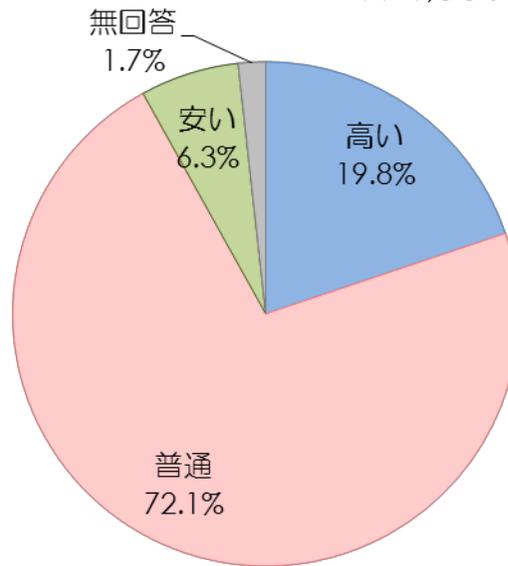
調査結果（6） 駐車料金について

- 駐車場有料化への理解については、「理解できる」が約4割を占め、「ある程度理解できる」と合わせると、8割以上の方が駐車場の有料化へ理解を示している。
- 駐車料金（普通乗用車300円）については、「普通」が7割以上を占める。
- 駐車料金の料金設定については、「定額制（回／円）」が7割近くを占め、「従量制（円／時間）」を大幅に上回る。

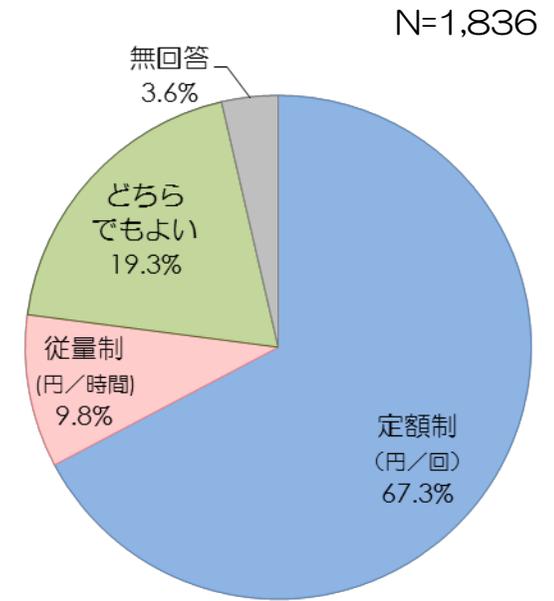
■ 駐車場有料化への理解



■ 駐車料金（普通乗用車300円）に対する感想



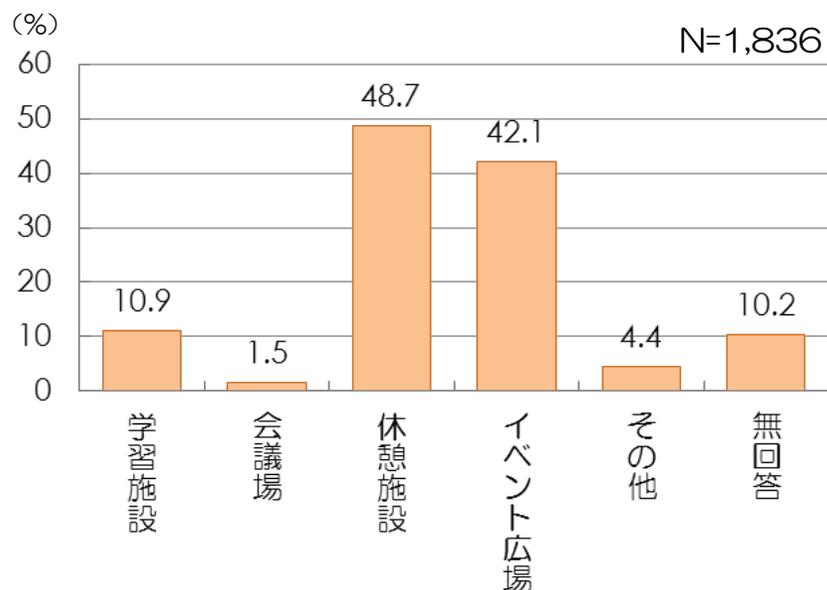
■ 駐車料金の料金設定



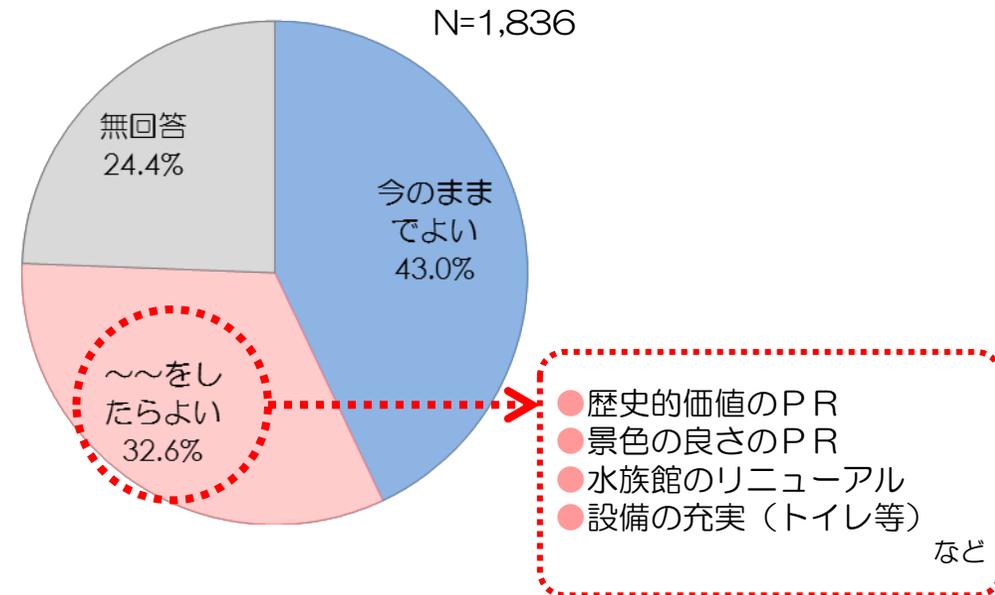
調査結果（7）拠点施設整備、魅力向上策

- 整備してほしい屋島山上拠点施設は、「休憩施設」が半数近くを占め最も多く、次いで「イベント広場」が42.1%と続いている。
- 屋島の魅力向上に向けては、「今のままでよい」が4割以上を占めるものの、具体的な方策としては、PRの充実（史跡であること、景色が良いこと等）や、水族館のリニューアルなどの施設の充実、トイレの整備などの設備の充実などの意見が多く挙がった。

■ 拠点施設の整備（複数回答）



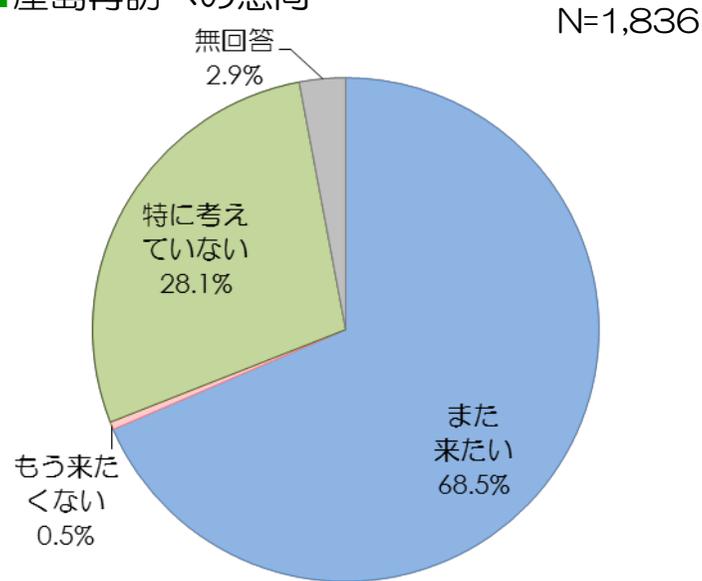
■ 屋島の魅力向上策



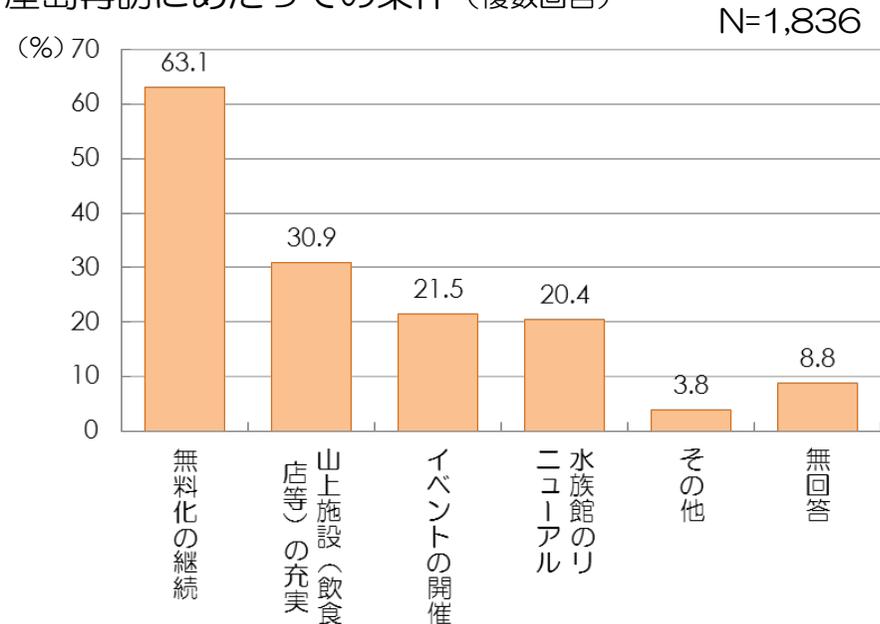
調査結果（8）再訪意向

- 屋島再訪への意向は、「また来たい」が68.5%と、再来訪意向者が7割近くを占める。
- 屋島再訪にあたっての条件は、「無料化の継続」が6割以上を占め、無料化の継続が屋島再訪意向に影響を大きく与える結果となっている。
- 次いで「山上施設の充実」が約3割、「イベントの開催」、「水族館のリニューアル」が2割前後と続いている。

■ 屋島再訪への意向



■ 屋島再訪にあたっての条件（複数回答）



調査結果（9）年代別にみた状況 ①滞在時間

- 屋島山上での滞在時間について年代別にみると、40歳以上で「1時間以下」が半数を超えているのに対して、10歳代では「2-3時間」が3割以上、20歳代では「1-2時間」が4割を超える。
- 40歳未満の来訪者は滞在時間が比較的長い傾向がみられる。

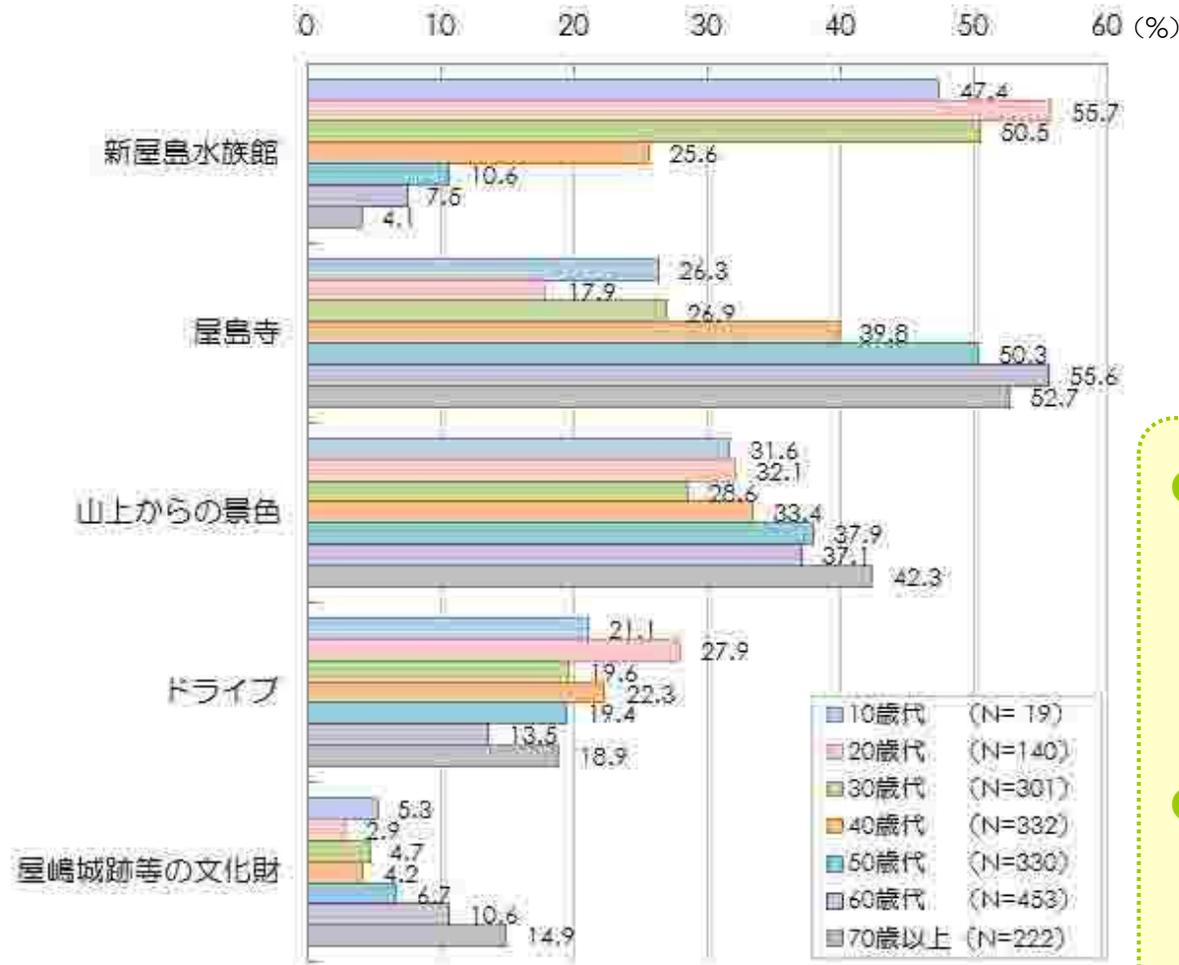
■ 屋島山上での滞在時間



※比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して10算出したため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。

調査結果（9）年代別にみた状況 ②来訪目的

■屋島への来訪目的（複数回答）

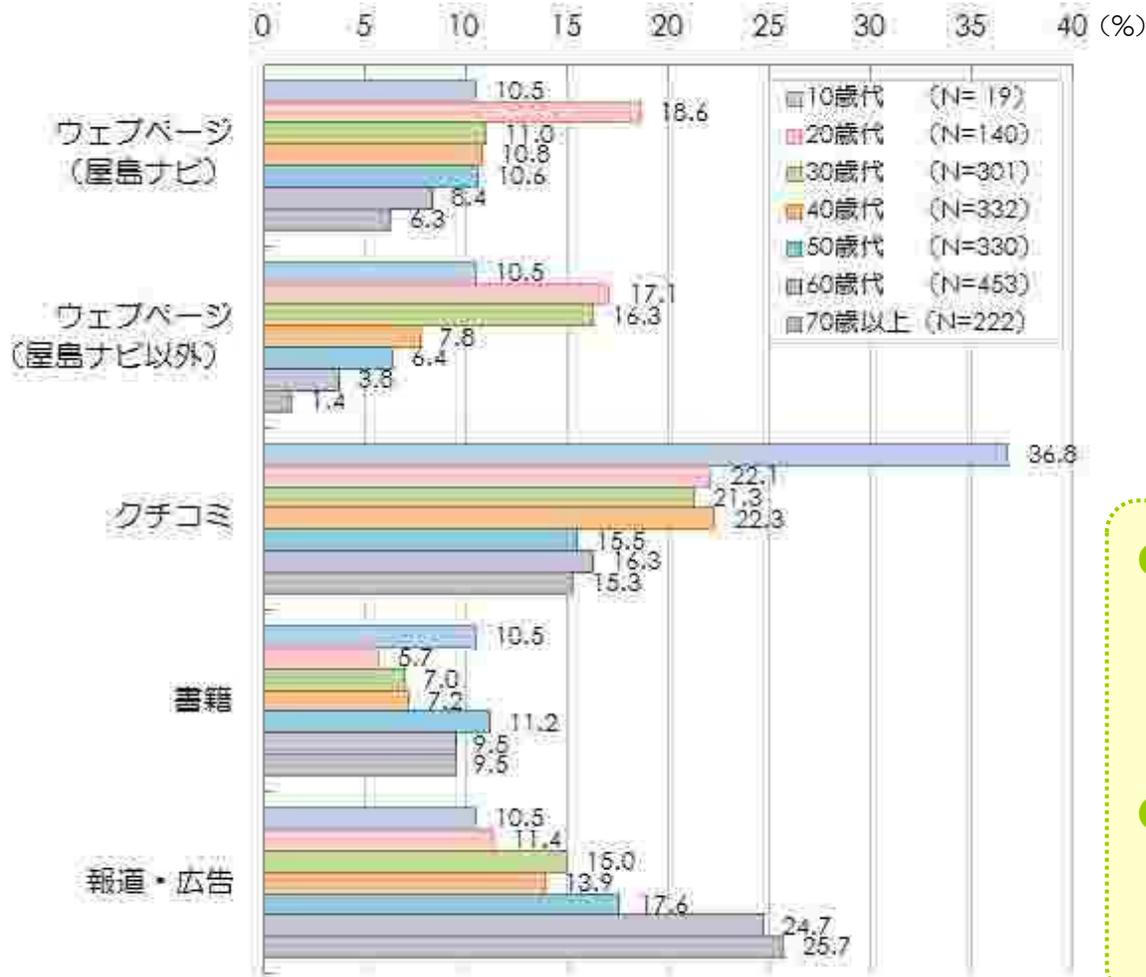


- 屋島への来訪目的について年代別にみると、10～30歳代では「新屋島水族館」が約半数を占めているのに対し、50歳以上では「屋島寺」が半数以上を占める。
- 「山上からの景色」では、すべての年代において3～4割を占め、高い割合となっている。

※比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して11算出したため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。

調査結果（9）年代別にみた状況 ③情報取得方法

■情報の取得方法（複数回答）



- 情報の取得方法について年代別にみると、10～40歳代では「クチコミ」、50歳以上では「報道・広告」が最も多くなっている。
- 20～30歳代では「ウェブページ（屋島ナビ・それ以外）」での、情報取得が多い結果となっている。

※比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して12算出したため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。

調査結果（9）年代別にみた状況 ④来訪と無料化の関係

- 屋島来訪と無料化社会実験の影響について年代別にみると、年代が下がるにつれて「無料化したので訪れた」の割合がやや高くなる傾向がみられる。
- 特に、10歳代・40歳代で「無料化したので訪れた」が3割を超える。

■ 来訪と無料化の関係



※比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して13算出したため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。

調査結果（9）年代別にみた状況 ⑤無料化の継続

- 社会実験期間以後の無料化継続について年代別にみると、すべての年代で「今後も継続してほしい」が大半を占めている。
- 特に、年代が下がるにつれてその割合が高くなる傾向がみられ、10歳代では9割を超える。

■ 実験期間以後の無料化の継続



※比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して14算出したため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。

調査結果（9）年代別にみた状況 ⑥再訪意向

- 屋島再訪への意向について年代別にみると、すべての年代で「また来たい」が大半を占めている。
- 特に、年代が下がるにつれてその割合が高くなる傾向がみられ、10～40歳代では7割を超える。

■ 屋島再訪への意向



※比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して15算出したため、百分比の合計が100.0%にならないことがある。

屋島ドライブウェイ無料化社会実験に伴う環境調査

無料化社会実験により通行料が無料となることで、屋島ドライブウェイの通行台数の増加が想定されるが、それに伴い、道路の周辺へのゴミ捨て、特に夜間の不法投棄などが懸念された。

そこで、無料化社会実験の実施前・実施後で、道路周辺への不法投棄の有無を調査し、無料化社会実験が周辺環境に与えた影響の把握を行った。

■調査方法

屋島ドライブウェイ（延長3.7 km）のうち、代表的な3箇所を調査対象箇所に設定し、無料化社会実験の実施前と実施後に、道路周辺の状況写真を同一アングルで撮影し、不法投棄の有無を確認する。

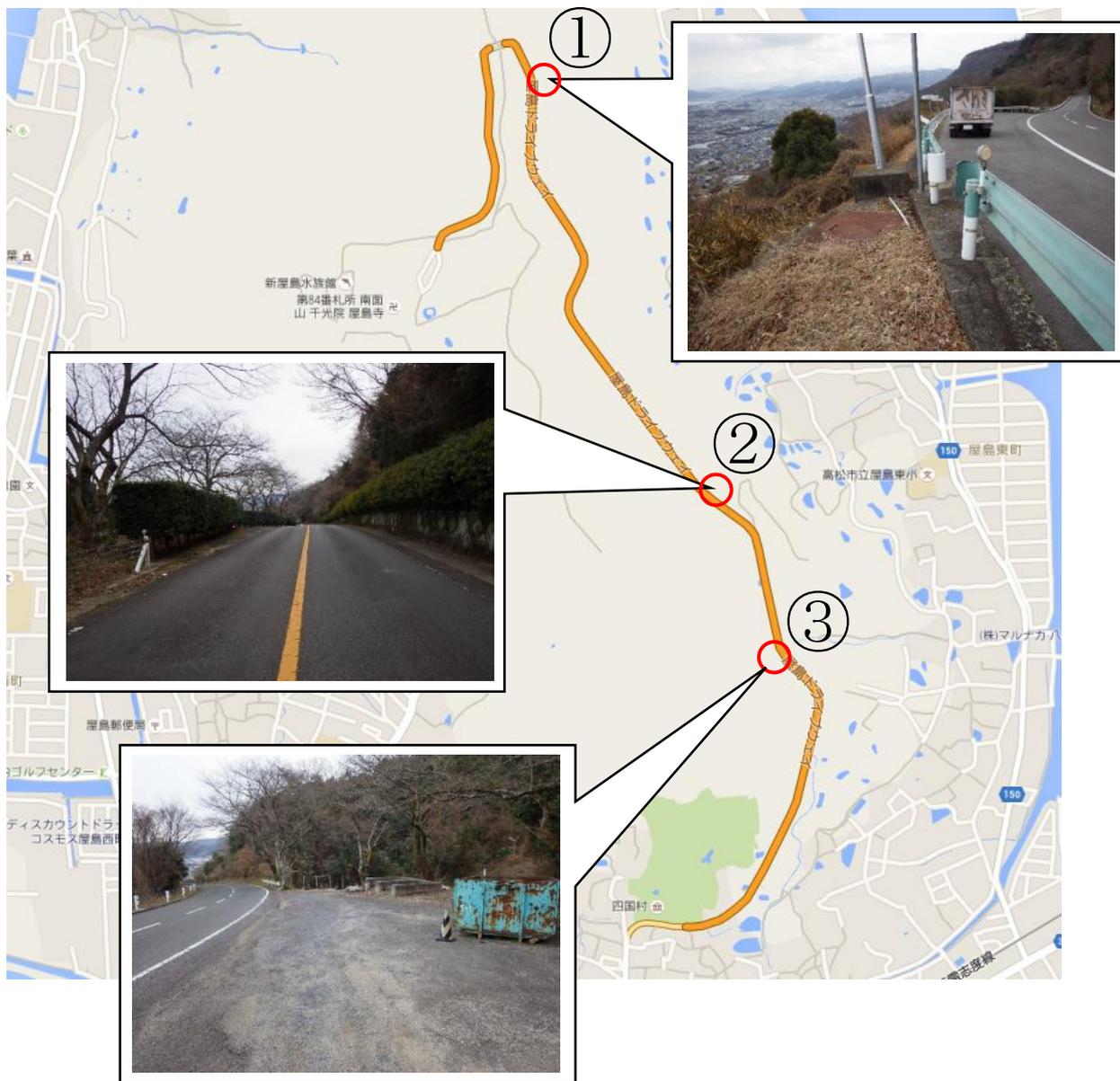
■調査日

- ・実施前：平成28年 9月18日（日）
- ・実施後：平成28年12月21日（水）

<無料化社会実験の実施期間：平成28年9月20日～12月20日（91日間）>

(1) 調査箇所

屋島ドライブウェイのうち、下図に示す3箇所を調査対象箇所として設定した。



- ①広い駐車スペース、景色が良いので停車が多い、山上付近であり人気が少ない、山上駐車場から死角になっている、など
- ②広い駐車スペース、ミステリーゾーンを見るための停車が多い、背の高い植木があり死角になっている、など
- ③広い駐車スペース、山麓から上ってきて民家から離れた場所、カーブで死角になっている、など

(2) 調査結果写真

■調査箇所①



■調査箇所②

実験前 (H28. 9. 18)	実験後 (H28. 12. 21)
 A paved road with a yellow double line, flanked by lush green trees and vegetation.	 The same paved road, but the trees are bare and the vegetation is sparse, indicating a change in the environment.
 A close-up view of a tree trunk with thick, gnarled roots and dense green foliage.	 The same tree trunk, but the foliage is sparse and the ground is covered with dry leaves and twigs.
 A dirt path or clearing with a large tree trunk on the right, surrounded by green grass and shrubs.	 The same dirt path, but the ground is covered with a layer of dry leaves and twigs, and the vegetation is sparse.
 A clearing with a large tree trunk on the right, surrounded by green grass and shrubs.	 The same clearing, but the ground is covered with a layer of dry leaves and twigs, and the vegetation is sparse.

■調査箇所③

実験前 (H28. 9. 18)	実験後 (H28. 12. 21)
 A photograph of an asphalt road curving to the left, bordered by lush green trees and a grassy area. The road surface is clean and well-maintained.	 A photograph of the same asphalt road, now heavily covered with a thick layer of fallen brown leaves. The surrounding trees are mostly bare, indicating a change in season.
 A close-up photograph of a tree with vibrant green leaves and a thick, textured trunk. The ground is covered in a layer of brown leaves.	 A close-up photograph of the same tree, now with bare, grey branches. The ground is still covered in brown leaves, showing a clear seasonal transition.
 A photograph showing a concrete barrier in the foreground, with a grassy area and a path leading into a wooded area. The vegetation is green and dense.	 A photograph of the same concrete barrier and path, now covered with a layer of fallen brown leaves. The surrounding trees are bare.
 A photograph of a wooded area with lush green plants and trees. The ground is covered in brown leaves, suggesting a transition from autumn to winter.	 A photograph of the same wooded area, now with bare trees and a ground covered in a thick layer of brown leaves and fallen branches.

(3) 調査結果まとめ

社会実験の実施前も、道路周辺には不法投棄されたようなゴミは見られなかったが、社会実験の終了後に現地状況を確認した結果、実施前と同様、不法投棄されたようなゴミは見られなかった。

⇒調査結果：無料化社会実験により通行台数は増加したが、ゴミの不法投棄などによる周辺環境への影響は見られなかった。

～以上～